



# 株式会社アルプス物流

## 第2四半期 決算概要 (2010年3月期)

- I. 第2四半期実績
- II. 通期見通し



2009年11月10日(火)



# 決算概要【連結】

## ● 連結損益

(単位:百万円)

	2009/9期	2008/9期		2009/9期	
	実績	実績	増減率	期初計画値	増減率
売上高	28,593	32,002	▲ 10.7 %	26,600	7.5 %
営業利益	1,364	1,970	▲ 30.7 %	600	127.5 %
経常利益	1,396	1,999	▲ 30.1 %	600	132.8 %
四半期純利益	708	1,086	▲ 34.8 %	230	207.9 %

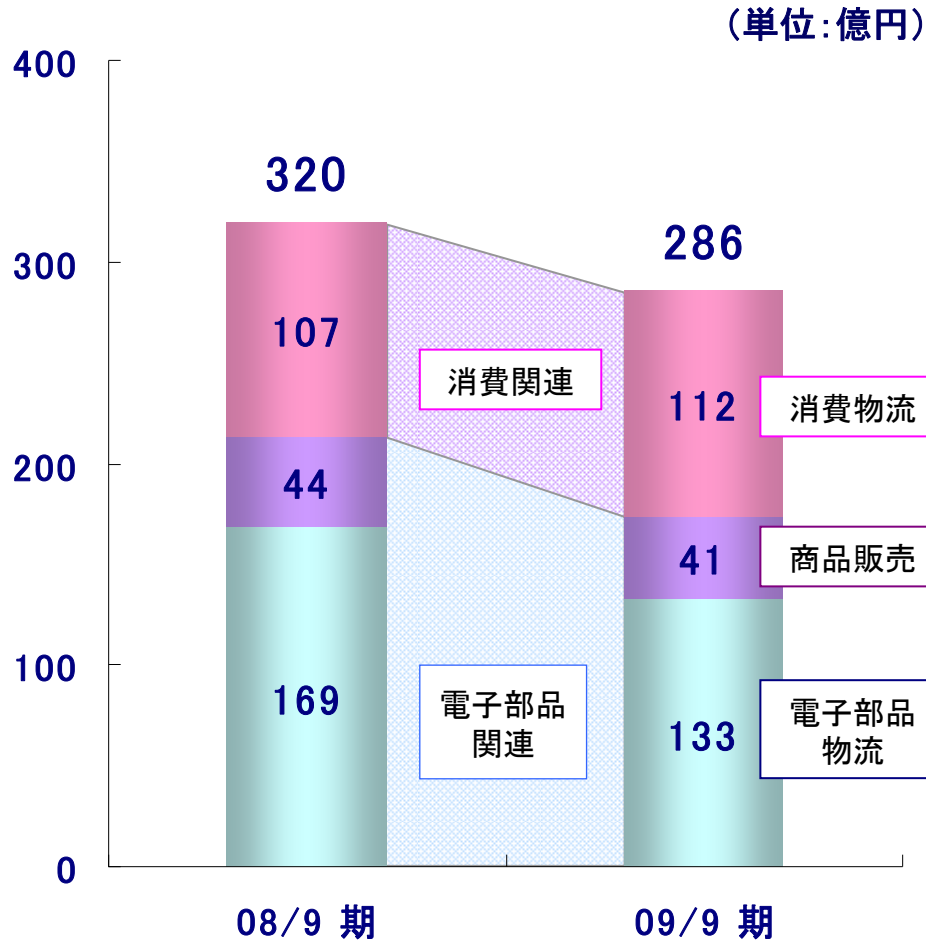
前年同期比では減収減益も、期初計画比では増収増益に

※海外現法の決算期間は1-6月です。



# 売上高【連結】

## ●セグメント別売上高



前期比 ▲ 34 億円 (▲ 10.7%)  
 (円高進行による影響 ▲ 3 億円)

● 電子部品物流 ▲ 36 億円  
 ・荷動き回復傾向も、水準低く大幅減収に  
 ・海外は需要ボトムの1-3月の落ち込み大

● 商品販売 ▲ 3 億円  
 ・顧客の生産調整に伴う需要減により減収  
 ・08下開始のデバイス販売が寄与(11億円)

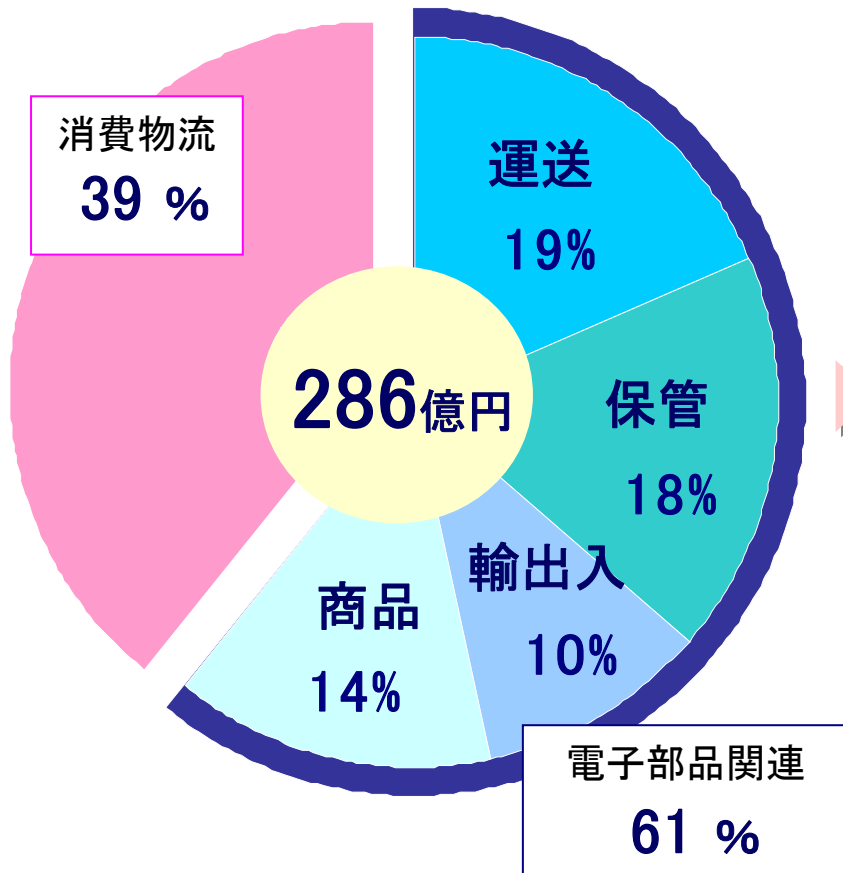
● 消費物流 + 5 億円  
 ・生協向け個配事業を中心に増収を確保  
 ・消費低迷により、一般顧客向けは微減

※各セグメントの売上高は連結消去後の数値です



# 売上高【連結】

## ●セグメント別構成比



## ●電子部品関連の事業内訳

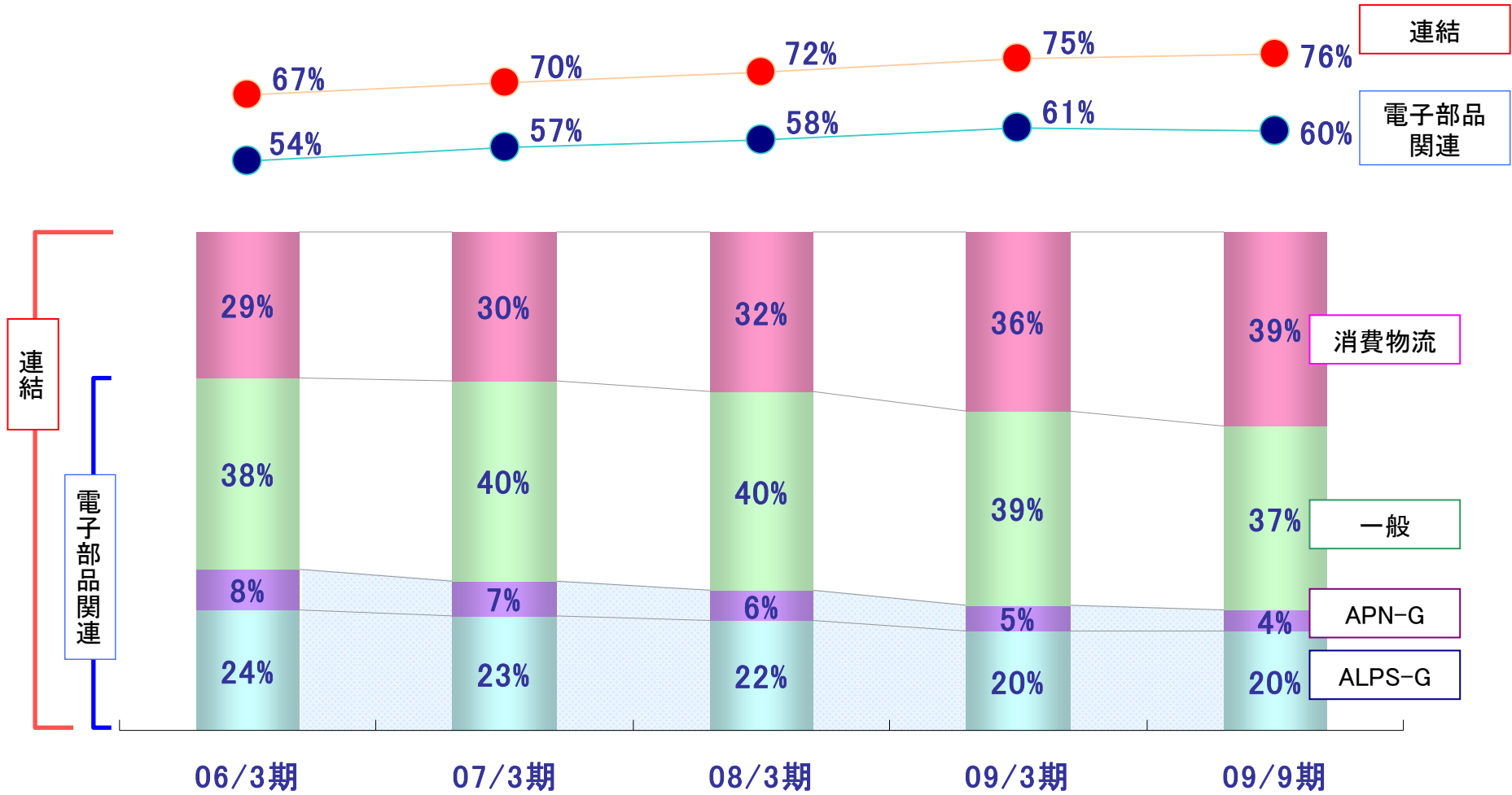
(単位:億円)

	08/9期	09/9期	前年同期比
運送	65	53	▲ 18.0 %
保管	61	51	▲ 16.0 %
輸出入	44	29	▲ 33.5 %
商品	44	41	▲ 6.6 %
計	213	174	▲ 18.2 %



# 売上高【連結】

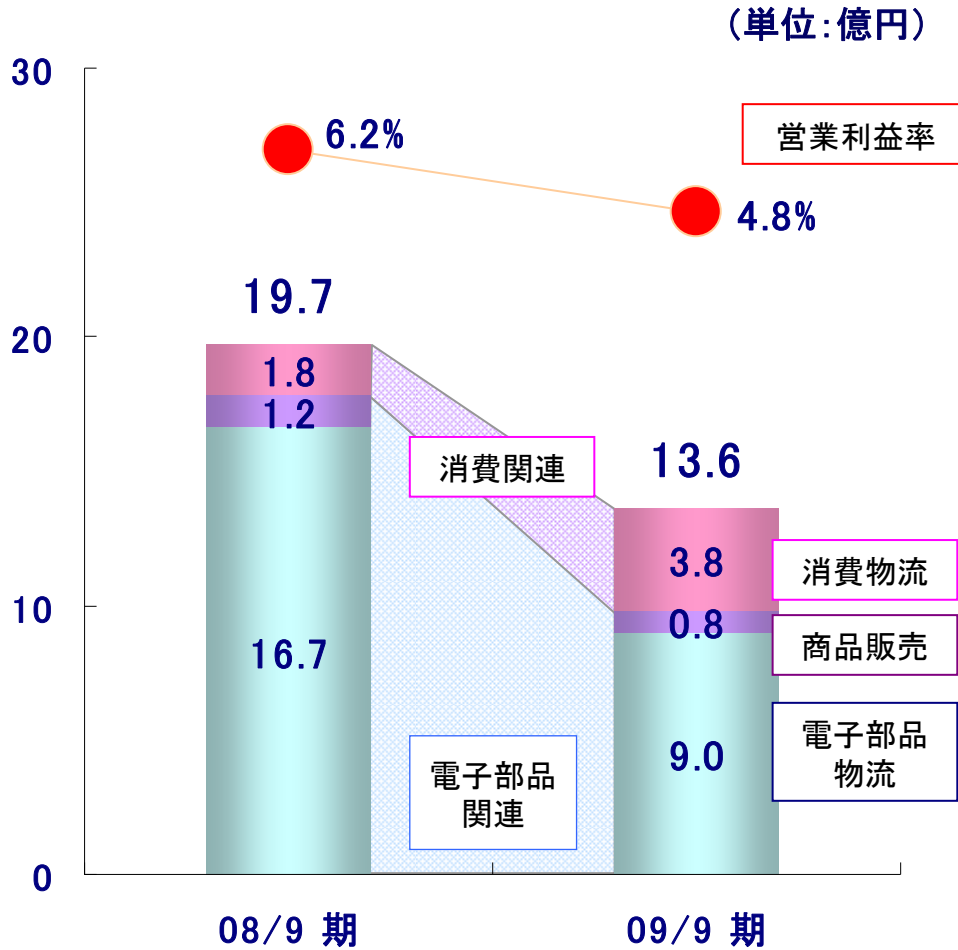
## ●外販比率推移





# 営業利益【連結】

## ●セグメント別営業利益



前期比 ▲ 6.1 億円 (▲30.7%)  
 (円高進行による影響 ▲ 0.0 億円)

● **電子部品物流** ▲ 7.7 億円

- ・前期比では貨物減の影響大きく減益
- ・体質強化により期初計画比では増益

● **商品販売** ▲ 0.3 億円

- ・顧客の生産調整による需要減で減益
- ・デバイス販売は立上げに伴い収支均衡

● **消費物流** + 2.0 億円

- ・個配を中心とした増収により増益達成
- ・燃料費、採用費上昇の沈静化も寄与

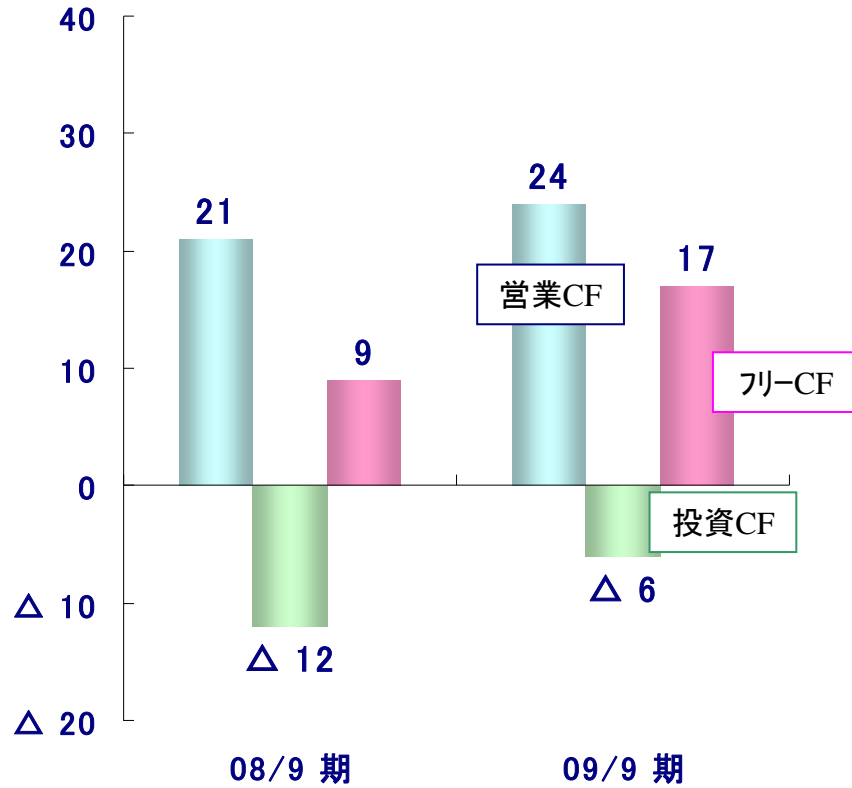
※各セグメントの営業利益は連結消去後の数値です



# 資金状況【連結】

## ●キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

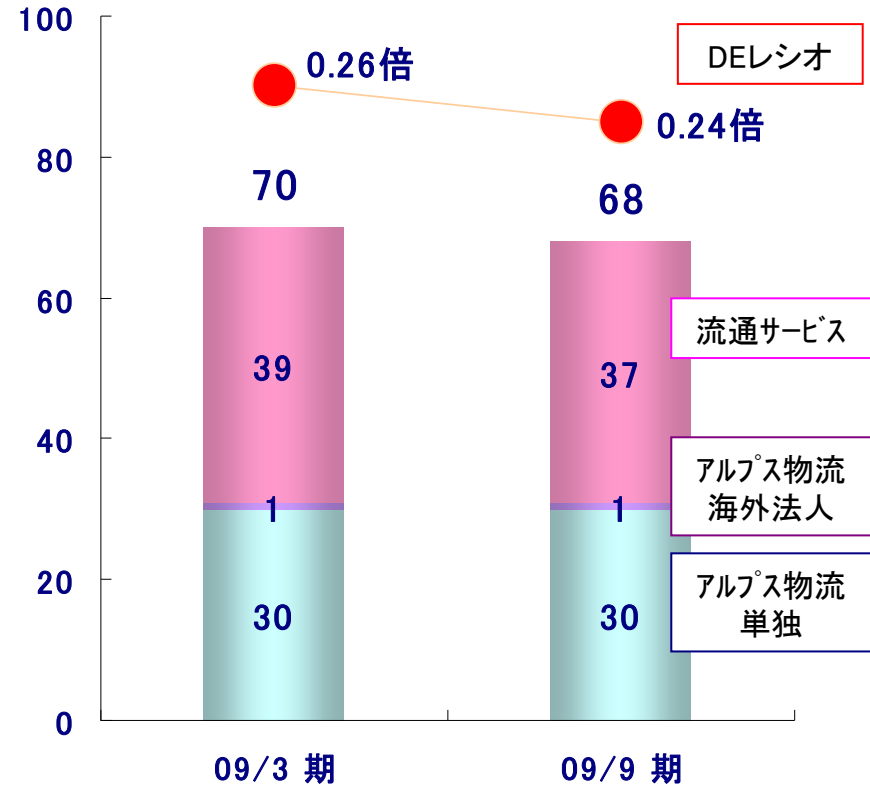


### ●キャッシュ・フロー

- ・営業CFは、納税減もあり前期比増
- ・投資支出は、前期比6億円の減少

## ●有利子負債残高

(単位: 億円)



### ●有利子負債残高

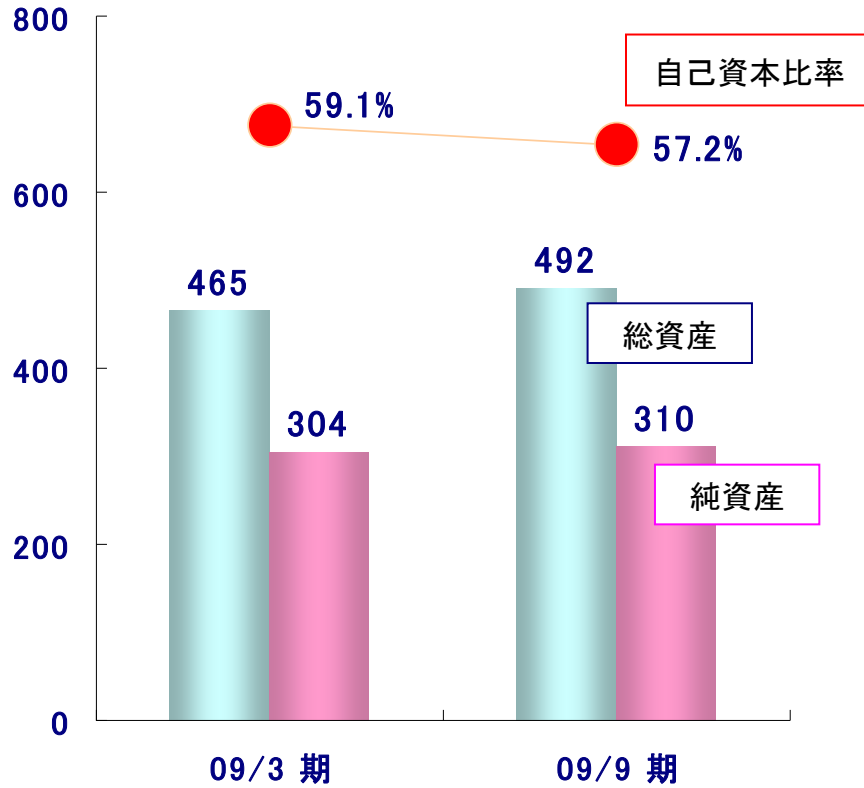
- ・借入金の返済2億円を実施
- ・DELシオは 0.02ポイント低下



# 財務指標【連結】

## ● 資産状況

(単位: 億円)

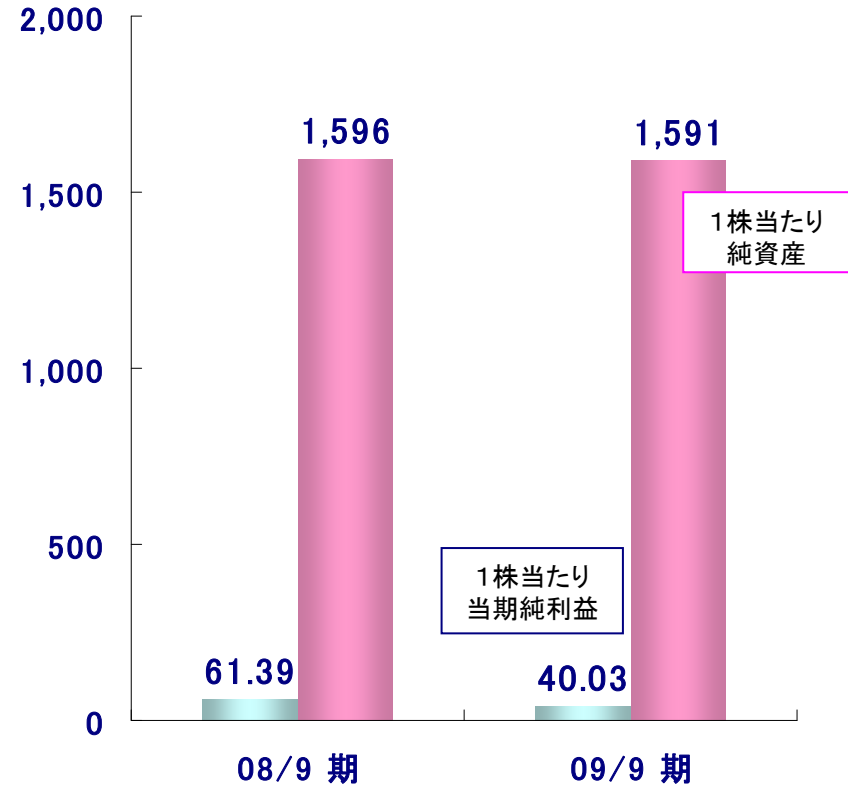


### ● 資産状況

- ・総資産: 現預金、売掛債権増で+27億円
- ・純資産: 内部留保、換算差額増で+6億円

## ● 1株当たり指標

(単位: 円)



### ● 1株当たり指標

- ・EPS: 減益に伴い▲21円
- ・BPS: 円高の影響で微減



# 業績の見通し【連結】

## ● 連結損益

(単位:百万円)

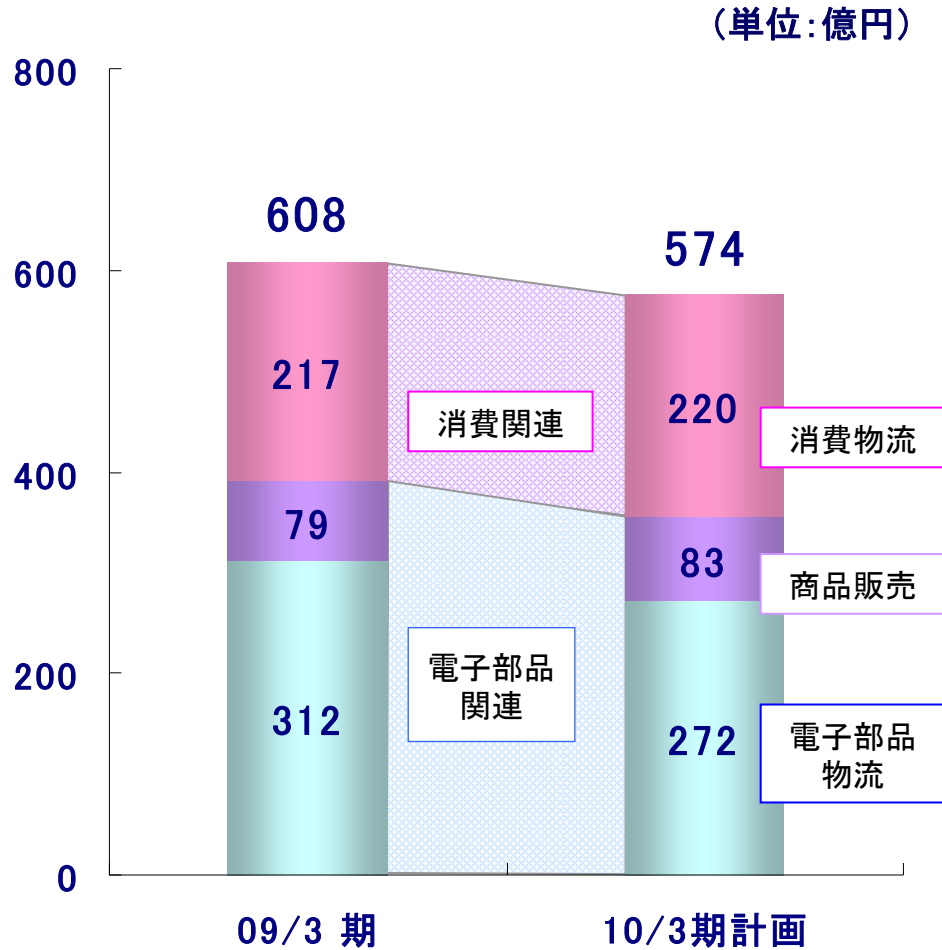
	2009/3期		2010/3期		
	実績	構成比	計画	構成比	増減率
売上高	60,776	100.0 %	57,400	100.0 %	▲ 5.6 %
営業利益	3,320	5.5 %	2,700	4.7 %	▲ 18.7 %
経常利益	3,344	5.5 %	2,700	4.7 %	▲ 19.3 %
四半期純利益	1,457	2.4 %	1,350	2.4 %	▲ 7.3 %

下期の需要動向は不透明であり、上期並みの事業規模の計画



# 売上高【連結】

## ●セグメント別売上高の見通し



※各セグメントの売上高は連結消去後の数値です

**前期比 ▲ 34 億円 (▲ 5.6%)**  
 (円高進行による影響 ▲ 8 億円)

● **電子部品物流** ▲ 41 億円

- ・需要回復が続くも、年明け以降は不透明
- ・海外は最悪期を脱し、上期比増収の計画

● **商品販売** + 4 億円

- ・下期の需要は上期並みでの推移を想定
- ・デバイス販売の売上拡大で通期増収計画

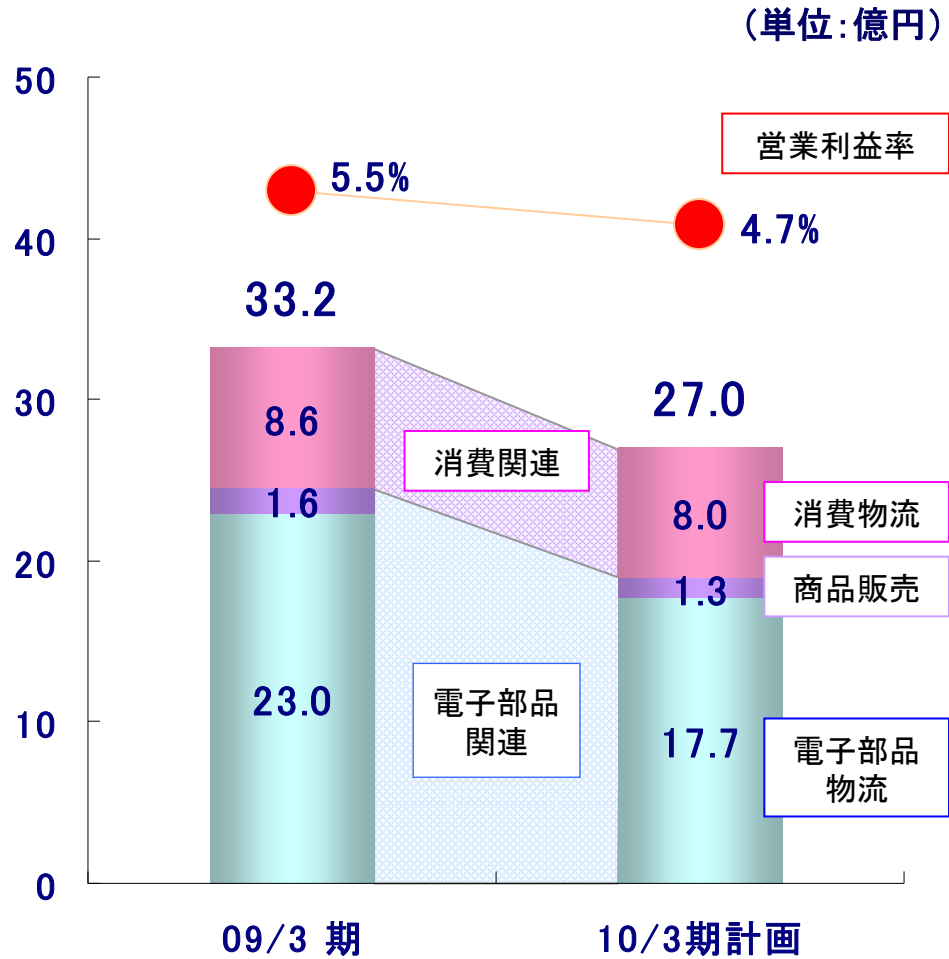
● **消費物流** + 3 億円

- ・生協向けの個配関連を中心に増収計画
- ・生協向け売上構成比率は80%弱の状況



# 営業利益【連結】

## ●セグメント別営業利益の見通し



前期比 ▲6.2 億円 (▲18.7%)  
 (円高進行による影響 ▲0.4億円)

● **電子部品物流** ▲5.3 億円

- ・国内は需要不透明で上期比減益の計画
- ・海外は回復傾向続き上期比増益見込む

● **商品販売** ▲0.3 億円

- ・国内は需要スローダウンを想定、減益見込む
- ・海外は年内の需要回復で微増益の計画

● **消費物流** ▲0.6 億円

- ・個配関連増収続き、上期比増益の計画
- ・賞与支払の平準化による一時負担発生

※各セグメントの営業利益は連結消去後の数値です

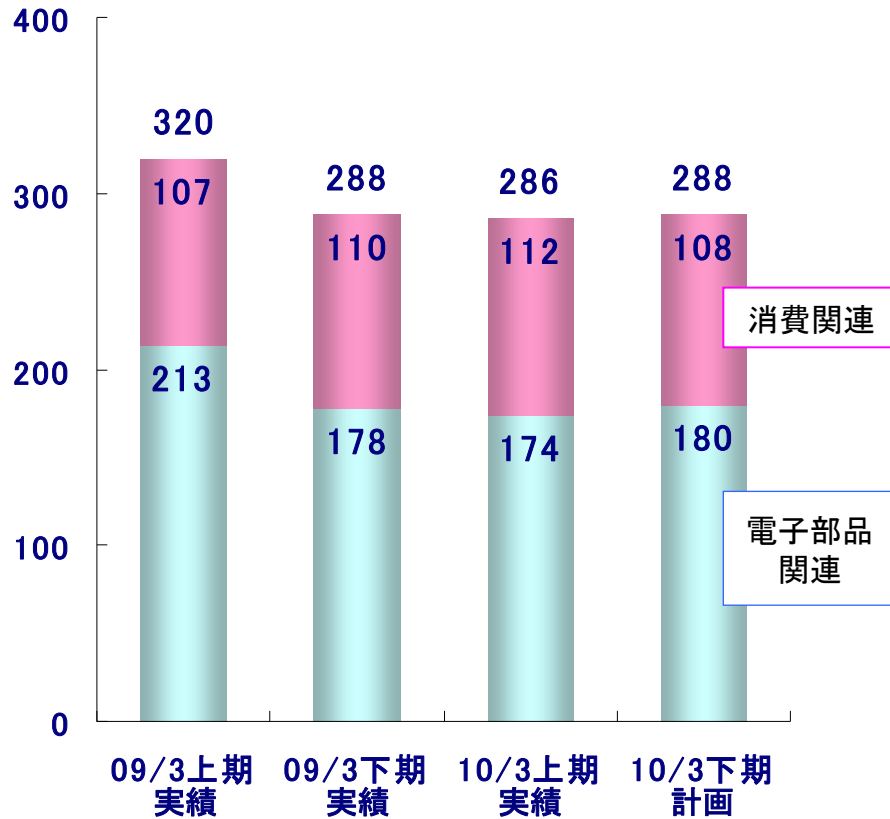


Ⅱ. 通期 見通し

# 売上高・営業利益【連結】

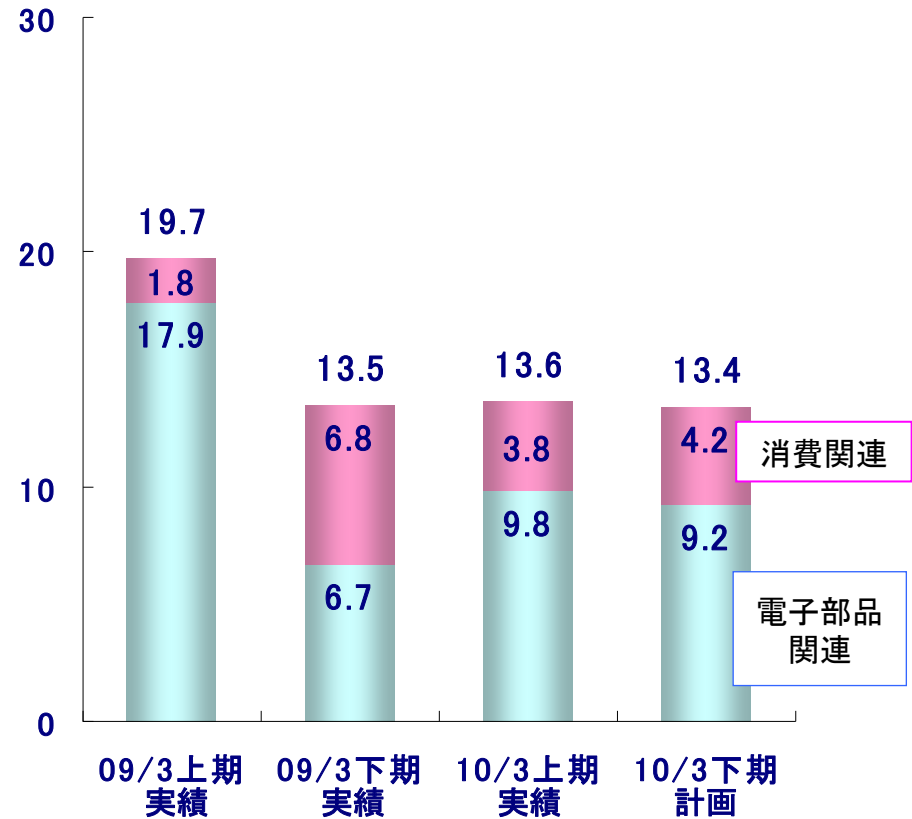
## ●売上高 半期推移

(単位:億円)



## ●営業利益 半期推移

(単位:億円)



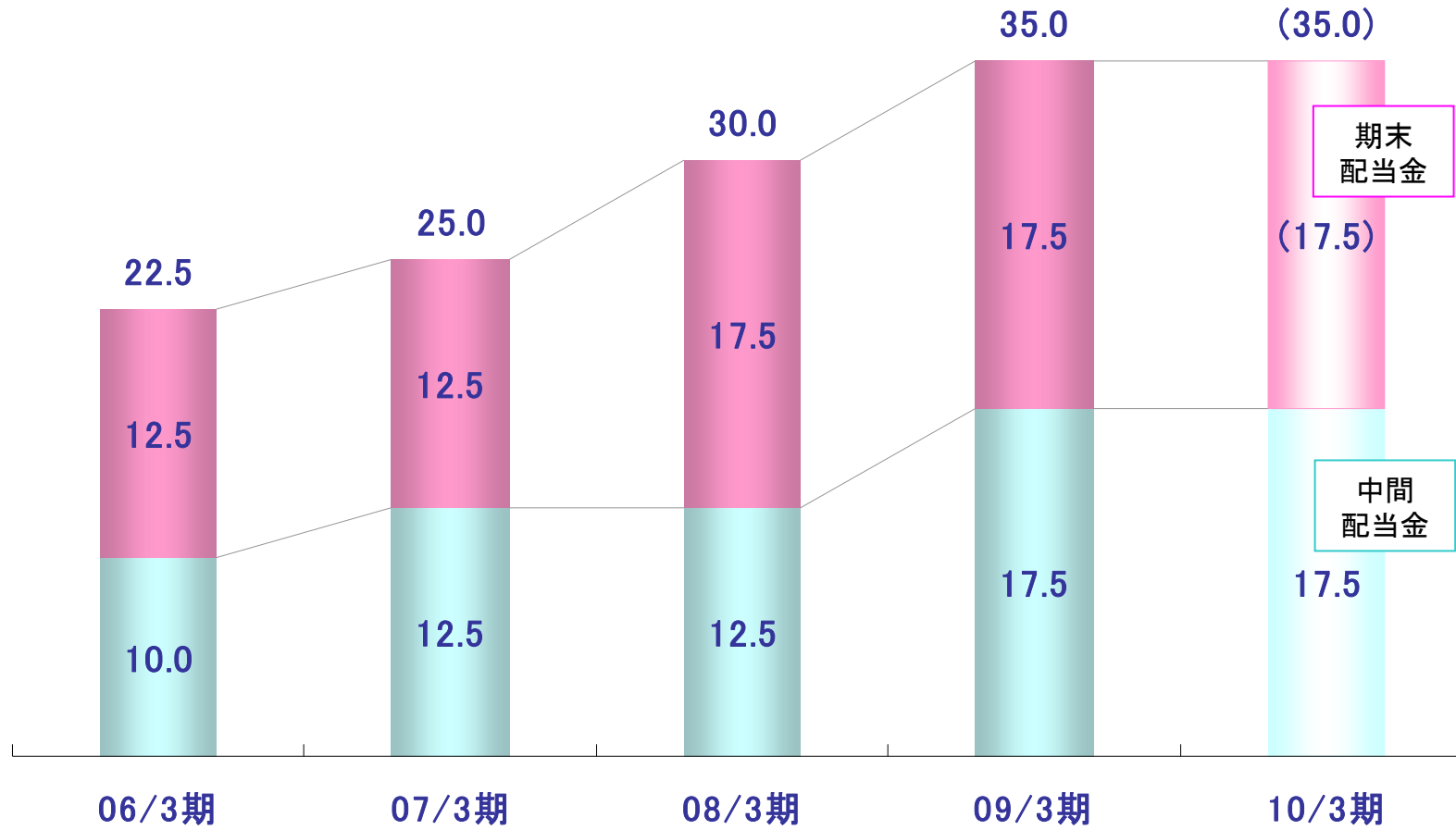
※各セグメントの売上高は連結消去後の数値です



# 配当計画

## ● 1株当たり配当

(単位:円)





(ご参考)

## 2009年度 事業方針

### 「エコドライブ経営」の推進

～「**守り**」を固め、成長に向けた「**攻め**」の継続～

#### 事業体質の強化

- ・生産性の向上(運送・保管・輸出入)
- ・運用技術、仕組み(システム)の強化

#### 新規・深耕拡販の推進

- ・「グローバル・ワンチャンネルサービス」の拡大
- ・ニーズの変化を捉えた新サービス創出

#### 高い物流品質の維持

- ・「物流個性」運用徹底によるCS向上
- ・物流品質の「PPM」管理体制の徹底

**+** (プラス)

#### グリーンロジスティクス

- ・CO2排出量削減(車両排気ガス・電力)
- ・廃棄物排出量削減・リサイクル率向上



(ご参考)

## 5つの約束

お客様のための最適物流を提案します

### ——— 5つの約束 ———

- ① 100% 物流品質・安全を目指します
- ② 99.9% 以上の在庫精度を守ります
- ③ 最適時間 (リードタイム) で運用します
- ④ 継続的な 物流の合理化 に貢献します
- ⑤ グリーンロジスティクス を推進します



**注意:**

**本資料に記載された業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。**

**実際の業績等は、業況の変化等により、記載されている予想数値と異なる場合があります。**

**また、本資料は会計監査対象外となっています。**